

(別添7)

事業所名 グループホーム ふくすけ

2 目標達成計画

作成日：平成 23年 3月 16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	6 (5)	拘束について職員各自の認識が十分ではない	職員全員が拘束について、禁止対象となる具体的な行為を理解し、拘束を行わないケアを目指す	・事故予防対策委員会が拘束についての勉強会を全職員対象に実施する ・管理者又は主任、課長は職員のケアを見守り、拘束と思われるケアはケアカンファレンスで職員全員で話し合う 12ヶ月
2	40 (1 5)	職員が同じテーブルを囲み食事を味わう等の家庭的な雰囲気作りがなされていない	利用者様に落ち着いた雰囲気の中で食事を味わっていただく	・職員は利用者様が食事中は出来る限り食事介助、片付け以外の業務は行わない様にする ・おしゃべりをしながら食事をするというような世代ではない方々ではないと考えられる為給食委員会を中心として職員全員でふくすけにおいて家庭的な雰囲気作りを摸索していく。 ・温かい食事を提供していく 12ヶ月
3	45 (1 7)	利用者様の希望に添った入浴を実施していない	利用者様の安全、清潔保持に努めた入浴介助を行う	・利用者様が午後から入浴したいと訴えられた場合は対応している ・利用者様や御家族に入浴時間の希望を伺う ・職員のローテーションを工夫しても利用者様の事故のリスクを考えると夜間の入浴導入は困難である ・夜間の不穏や訴えには足浴、清拭で対応し利用者様の安全を第一と考える。 12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。